

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制による個別支援の充実が挙げられます。クルハウスでは、一人ひとりの子どもの特性や発達段階に応じた支援を丁寧に行うことができる環境が整っており、落ち着いた雰囲気の中で安心して学べることです	少人数制を活かし、子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を丁寧に行っています。職員が子どもとじっくり向き合う時間を確保し、日々の様子や変化に細かく気づける体制を整えています。	子どもとのマンツーマンの時間を確保するほか保護者との面談・連携強化を図ります
2	パソコン教育を取り入れたICT支援が強みです。クルハウスでは、タイピングや文書作成などの基礎的なパソコンスキルの習得を通じて、子どもたちの将来的な自立や就労につながる力を育てています。	タイピング練習、マイクラフト文書作成、資格取得の勉強などを日常の活動に取り入れ、子どもたちが「楽しく」「自然に」学べる工夫を行っています。	ICT支援カリキュラムの体系化や実践型の活動の導入を図ります。
3	地域に根ざした継続的な支援体制が挙げられます。クルハウスは、特定非営利活動法人くるくるネットが長年地域で培ってきた信頼とネットワークを活かし、地域に密着した支援を行っています。	くるくるネットのイベントへの参加の促しや地域ボランティアの交流機会の創出を通じて、子どもたちが多様な人と関わる経験を積むことができています。	地域イベント・祭り・ボランティア活動への参加機会の拡大を図ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数での運営を行っていることから、職員の負担が偏りやすいといった状況があります。	小規模事業所であるため、人件費の予算に限りがあり、十分な配置が難しい。	外部研修の参加費補助やオンライン研修の導入により、職員がスキルアップできる環境を整えます。
2	パソコン支援などの専門的な取り組みを行っている一方で、日々の送迎や記録作成、保護者対応などの業務が重なり、職員が研修(パソコン研修など支援に特化したもの)が十分な時間を確保できない状況がある。	限られたスタッフ数で運営しているため、活動の準備や振り返りの時間を十分に確保できない。	ICTの活用による記録業務の効率化を図ります。
3	地域に根ざした良質な取り組みを行っているにもかかわらず、情報発信が十分に行き届いていないことが課題です。	日々の業務が多忙で、活動内容や成果を外に向けて発信する時間が取れない。	広報や情報発信として InstagramやFacebookを活用し、「週に1回投稿」を目標にします。